

令和元年 7 月 吉日

各家族会 会長各位

岐阜県精神保健福祉会連合会

理事長 山田偉雄

## ぎふかれん情報 令和元年 7 月号

### ○国・県への要望課題の提出について

各種障がい者関係団体からの国・県への要望課題をとりまとめ、岐阜県社会参加推進会議として提出するものです。会議は 7 月 29 日（月）に開催されます。とりまとめの為 24 日までの送付締め切りとなっています。例年の行事ですが、要望課題を 7 月 22 日（月）の第 1 回理事会までに、**FAX**等で送付願います。各課題は 2 点に絞ることが決められています。

昨年度は、

県への要望課題

- ① 親亡き後、安心して暮らせる環境整備、支援体制の強化
  - ・福祉施策の障がい者家族への十分な説明・適用
  - ・住まいの確保
  - ・グループホームの整備促進
  - ・訪問医療
  - ・訪問看護
- ② 高次機能性障がい者に対する特化した支援センターの設置  
(訪問医療体制の促進・援助) () 内については、①に含め、また国への要望として②を優先国への課題

- ① 精神障がい者にも J R 等運賃の交通割引制度の導入
- ② 訪問医療体制の促進・援助

を提出しました。結果は、県では各担当課の課長・管理官等が回答。十分な回答が得られていません。具体的な課題が適当と思います。

国との対応は、国会議員の秘書が参加、こちらの説明を熱心に聴き、伝えるで終わっています。

しかし、県・国への要望提案はこの機会しかなく、継続することが重要と考えます。

今回の県への要望の一つに 6 3 0 問題（6 月 3 0 日時点での各病院の詳細な運営実態報告、昨年までは開示されていたが、今年度は非開示になっている）もあると思います。検討下さい。

### ○悲願であった、「精神障がい者に対する交通運賃割引制度の適用に関する請願」 衆参両院の国土交通委員会で請願採択（6 月 26 日）

J R 各社への今後の交渉が重要になってくる。

### ○みんなねっと令和元年度総会、会長・事務局長会議（報告）

(少し詳し過ぎますが、興味あったら読んでください)

6 月 1 0 日（月） 1 3 : 0 0 ~ 1 6 : 3 0 アットビジネスセンター池袋（東京）

司会：小幡氏 正会員 4 6 名 出席 3 6 名（内委任状 1 0）欠席 1 名

議長：秋田県連 阿部氏

行政報告 「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」について

厚労省 精神・障害保健課長 得津氏（例年になく分かりやすい表中心の説明）

## ○精神科医療の現状について

精神疾患を有する患者数の推移

- ・ 総患者数は 419,3 万人（入院：30,2 万人、外来：381,1 万人）  
内精神病床入院患者は 27,8 万人
- ・ 入院患者数は過去 15 年間で減少傾向 34,5 万人→30,2 万人  
一方、外来患者は増加傾向（223,9 万人→389,1 万人）
- ・ 疾患別内訳  
認知症（アルツハイマー）が 15 年前と比べ 7.33 倍、気分障害（躁うつを含む）1.8 倍、統合失調症 1.2 倍。
- ・ 年齢階層別内訳 各年齢でいずれも増加、特に 75 才以上は 3.2 倍（認知症）
- ・ 疾病別入院患者数の推移 おおよそ 9 割と減少。アルツハイマー病は 2.6 倍、統合失調症は 76%に減少。
- ・ 年齢別入院患者数の推移 65 才未満は減少、75 才以上 1.4 倍（認知症）
- ・ 入院患者数の推移（在院期間別） H29 年 27.8 万人、除々に減少、1 年以上が全体の 6 割、5 年以上が 3 割強と 1 年以上の長期入院者が過半数。
- ・ 退院後の行き先  
家庭が最も多い。3 か月未満の入院者は 70%以上が家庭、1 年以上は他の病院・診療所に入院・各種施設等が最も多くなる。
- ・ 措置入院 新規措置入院者は過去 22 年で倍増、在院患者数は約 3 割に減少。
- ・ 措置入院患者の在院日数は短縮傾向。H16 平均在院日数 355.3、H29 で 84.3 人。
- ・ 精神障がい者が、地域の一員として、安心して自分らしい暮らしができるよう、医療、障害福祉・介護、社会参加、住まい、地域の助け合い、教育が包括的に確保された「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」を新しい理念とし明確化した。（H29.2）
- ・ なぜ精神障がい者にも地域包括ケアが必要か
  - ① 入院患者の在院期間は、1 年上が 17 万人、5 年以上が 9 万人。
  - ② 退院者の 4 割が 1 年以内に再入院している。
  - ③ 精神障がい者の多くが地域サービスを十分利用できていない。利用者は 33%。
  - ④ 1 年以上の長期入院（認知症を除く）の退院可能性、困難理由  
退院可能者は 85% その退院困難理由の 33%が住居・支援がないため。
  - ⑤ 精神療養棟に入院する患者の 1 / 2 が在宅サービス体制が整えば退院可能とされる。  
→基盤整備が必要、デイケア・訪問看護・グループホーム・精神科外来・訪問診療・往診、ACTなどの整備

## ○第 5 期障がい者福祉計画に係わる国の基本指針について

- ・ 精神障がい者にも地域包括ケアシステムの構築
- ・ 令和 2 年までに全ての障がい者福祉圏域・市町村ごとに、保健・医療・福祉関係者による協議の場を設置する。
- ・ 多様な精神疾患等に対応できる医療連携体制の構築に向けた医療機能の明確化。

どの病院が何を専門にしているのかの明確化。

○精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築を推進するための事業

令和元年度の新規事業 ・普及啓発に係わる事業

○地域包括ケアシステムの構築支援事業

- ・精神障がい者に対する理解を深めるためのシンポジウムの開催
- ・アドバイザーを対象とする研修会の開催。

○その他の事業 従来からのものも含む

- ・ 家族支援に係わる事業 ・住まい確保事業 ・ピアサポート事業
- ・アウトリーリーチ支援 ・緊急措置入院者の退院後の医療等継続支援
- ・地域移行関係職員の研修 ・包括ケアシステムの構築状況の評価 ・包括ケアシステムの構築に資する事業など

詳細なデータ記載の冊子があります。希望者は申し出てください。

議事

◎第1号議案 平成30年度事業・活動報告

- ・代表理事会 年7回

- ・ブロック研修会

8ブロック 近畿ブロックでは全国大会（神戸）。

四国：150名、九州・沖縄：430名、近畿：1,500名、甲州・東海（岐阜）：390名参加

- ・隔離、身体拘束についての改善活動

精神科医療の身体拘束を考える院内緊急集会や「精神科病院に入院中の方のための権利擁護の拡充に向けて」等の講演会

2/18 精神科医療の身体拘束を考える会として 630 調査の開示を求める要望（厚労省大臣へ提出）。

→従来から国には個別の情報は各県から上がっていない。今までどおりに国からは情報は出していない。との返答をしたのが、出していない。との新聞社の読み取り。国からは何も指示していない。とのことで、各けんかれんはこの情報をもとに県に交渉してくださいとのことでした。

- ・精神障害についての教育カリキュラム化への働きかけ

- ・家族ピアサポーター養成研修 18県連

- ・地域家族会による学習会「日本財団助成」

今年度は55か所の地域家族会が実施 家族会員獲得に有効とのこと

- ・みんなねっと 電話相談 毎週水曜日 10~15時 489件/年

- ・研修事業 みんなねっとフォーラム 400名参加 今まで2回東京で開催、東京以外での開催要望が出る。

- ・社会啓発・広報活動 みんなねっと誌・ブックレットなど  
他団体との連携 ベルギー視察の取りまとめ

・ J D F フォーラム等各種団体との連携

○みんなねっと 会員数の減 一番大きな問題として語られた。

団体会員の減少が著しい。

病院、事業所など 2 冊以上購入の場合は団体会員として成り立つ。

その場合、購読料 3,600 円 600 円は団体へ還元。今後改定していきたい。

あくまでも、家族会の運営費に使う資金とする。

個人会員も減少。11,000 人を切った。各県連でも努力して欲し。

◎第 2 号議案 収支・決算について

省略

以上全会一致で採択

◎第 3 号議案 2019 年度事業計画

メニューは前年度と同じ事業。今年度からは、長期ビジョンにのっとり計画を立てていきたい。各 J R へのみんなねっとで統一した交渉形態も検討したい。各けんかれんの地元交通業者の交渉を進めてもらいたい。

私たちの家族の 7 つの提言（再掲載）

- ・ 本人・家族のもとに届けられる訪問型の支援・治療サービスの実現
  - ・ 24 時間・365 日の相談支援体制の実現
  - ・ 本人の希望に沿った個別支援体制の確立
  - ・ 利用者中心の医療の実現 ・ 家族に対して適切な情報がされること
  - ・ 家族自身の就労機会および経済的基盤の保障 などを基本に活動
- 詳細は翌日の会長・事務局長で検討。

◎第 4 号議案 了承された。

◎第 5 号議案

全国大会の開催 2019 愛知県

2020 宮崎県

2021 東京都

2022 以降は政令指定都市（100 万人以上） 広島、埼玉、京都、神奈川、北海道  
その他、開催希望都道府県とする。

◎特別議題

山口県精神障がい者家族会連合会（山口かれん）発足準備会  
（昨年、みんなねっとから除名されていた。）

今回はオブザーバーとして総会に出席。地域家族会は 14 とのこと。

6 月 11 日 会長・事務局長会議 9：35～12：30

- ・ みんなねっと本部・県連・単会との連携
- ・ 財政問題を含む長期的見直し（長期計画検討）
- ・ 家族支援の在り方、多様な立場 ・ 賛助会員の在り方 ・ 大会分担金の見直し  
などの課題について検討 各委員からの意見

○精神障害者への相談員が知的・身体障害者はいるが、精神にはいない。法的改正が必要。みんなねっとから強力に国へ交渉すべき。

○教育問題 高校の保健体育教科書に載ることが決められたが、義務教育からの教育が必要。

○高齢化・家族会の問題 家族会の衰退

→3人以上いれば家族会。一番良いのは10名~20名。少人数でも家族会を結成してください。

○みんなねっと本部と県連・単会の連絡 インターネット配信 できないところは、FAXで。

○県連活動の紹介および各県連からの意見 岩手：県内でブロックを作り活動 岐阜：県連の実情、地域家族会の危機。 鹿児島：会員減少。家族会のない地区、個人会員として年会費2千円でつながっている。保健所が家族会育成に協力してくれる。離島航路の運賃割引で来た。 愛知：JR運賃交渉 前回と同じ。上部に伝えるとの回答、みんなねっと主体で取り組んで欲しい。医療費は各県連で対応すべき、法制度の問題はみんなねっとで取り組んでもらいたい。

福岡：10名程度の家族会員が良いとの、本條会長の言。安心した。50名の家族会で11名の運営委員月1回集まり企画実行している。 静岡：家族会による家族学習会を実施している。述べ9つの家族会で行った。100名が会員に入ってくれた。入らなかった200名も良かったとの反応。

会員確保には、良い方法。 佐賀：家族会維持が難しくなっている。単会の維持が難しければ、県連として3~4の家族会でも良いのではないかと思っている。兄弟会の活動も行っている。全国と連携して行っていきたい。 宮城：みんなねっとと会計について、国からの助成はないのか？。事務局員がよく変わる。これは財政問題ではないのか？。宮城県ではボランティアで行っているが、みんなねっとではそれなりの給料は支払うべき。

国への提言として、県への指導をしてほしい。

→理事長

皆さんからの情報 いろいろな面で活用していきたい。職員の退職の件、財政問題もあるが、直接の関係は少ない。現在のメンバーは優秀な方達で定着させたい。

多様な立場の会（本條理事長・木全副理事長は兄弟が当事者）も検討しなければと思っている。 広島：家族相談事業と言う要望を出していたが、予算化できた。

委託事業ではなく、助成金がついた。 三重県：医療費として入院費用は多額、病院から地域医療に移せば多額な金が地域医療・サービスに回せ、患者の充実した生活が出来るようになる（三重県の病院入院患者数とその費用の数字を挙げ）。是非、国への提言を願いたい。 大分：九州ブロックでJR運賃交渉を持ったが、単独では打開できない。みんなねっと主導で運輸局と交渉を持って欲しい。西鉄では、運賃を割り引いても収入減になっていない。との報告あり。

→政策委員会で検討を進める。 福井：みんなねっと誌に引きこもりの問題が書いてある。

一つ一つの個人の要因で、事件はその結果。賛助会員等にみんなねっとと会員数が12,000人を切った。問題である。大阪：医療費助成問題大きい。1級のみがOKとなった。

65歳以上の障害者老人保健があったが、3年後に止めるとの話があった。

会員との情報伝達方法は、FAX。役員はメールリストに入ってくれと言っている。他の障

害者団体は、LINEを使用している。 奈良（奥田：JR等運賃担当）：JRと大手は団結が強い。減収になるので実施しない。国が対応してくれば実施する。と言っている。西鉄の例もあるのでこれをどのように活用するか、みんなねっとで統一行動をしたい。愛知大会前に実施したい。 茨城：医療費問題、市町村は県が動かなければ絶対に動かない。茨城では議員を使ったロビー活動を行う。自民党の会議室で勉強会を開催。1級はもらっている。2級は他県状況を見て考えている。 秋田：財政問題やみんなねっとの組織作りは不十分である。頑張りたい。 熊本：家族会への支援が必要。 患者の再入院が多い。家族からの軋轢が大きいのではないかと。法整備も必要。 東京：この話し合いは2日間のみでは少なすぎ。みんなねっと愛知大会の分科会（第3・4・5分科会）で全国からの問題点を出し合い、検討したらどうか。その他9県（重複も）からの意見・情報が出た。 いずれも十分な論議ができず、各県連からの聞き置き程度（ガス抜きか？）で終わった。問題点を2、3に絞るべきと思われた。（メモの抜粋なので、不十分な部分も多く、悪しからず）  
なお、全国大会の各県の分担金について、全体の金不足から今後改正をしたいとの本部からの提案（具体的な改正案な今回はなし）があった。

#### 事務局からの連絡

みんなねっとライブラリーシリーズ 出版予定

第1弾 7月新刊 青木聖久 追体験霧晴れる時 1, 404円

第2弾 秋頃予定 蔭山正子・横山恵子 こどもの立場・配偶者の立場

8月出版予定 障害者年金（タイトル未定：月刊みんなねっと連載再編）  
いずれもみんなねっとにて注文受付

### ○第3回みんなねっと愛知大会実行委員会（報告）

場 所：名古屋市 白壁庁舎 県会議室

期 日：令和元年6月24日 13:00～15:30

実行委員として山田が参加しました。

- ・チラシ・大会冊子・ポスターA2： 6月末までに、全国の家族会の会長宅に送付する。約1,000家族会。病院、クリニック、事業所、福祉関係者に送る。

○参加者名簿・参加費・宿泊費・懇親会費等の徴収業務は旅行代理（阪急）に依頼。

参加申し込みの申込締め切りを9月27日。

- ・日帰り観光：出発昼食後13:30～

- ・全体の予算は、約9,912,000円

大会：11月7日（木）刈谷市総合文化センター

基調講演 「社会で暮らす当事者のために精神医学は何ができるのか

：妊娠出産から自動車運転まで」名古屋大学 尾崎教授

記念講演 「ベルギーにおける地域移行について」  
ベルギー保健省・精神保健改革コーディネーター  
バーナード・イエイコブ氏

### 11月8日(金)

第1分科会：「当事者の地域移行・地域定着」 第2分科会：「諸外国から福祉を学ぶ」  
第3分科会：「医療費助成の全国展開について」 第4分科会：「交通運賃の格差是正運動」  
第5分科会：「福祉としての障害年金について」

参加費：3,000円／障害のある人500円／学生1,000円

海外から、来ていただくのに、費用も面から、他団体との共同招請、愛知大会後に別（他団体）の会場で

講演会(?)。 **多くの皆さんの参加をお願いします。**今年度は、甲州・東海ブロック大会を兼ねます。

来年度の全国大会は、宮崎県（会長44歳）。

## ○第34回「知ってもらいたい心の病」講演会

演 題 「精神障がい者の障害とは？」関わり方とその理解について

講 師 河村 眞志氏（臨床心理士）

日 時 令和元年7月14日（日）13:30～16:00

場 所 大野町総合町民センター TEL0585-32-1111

皆さんの参加をお願いします。

## ○第35回「知ってもらいたい心の病」講演会

演 題 「障がい者差別解消法と

学齢期における支援教育について～家族支援の視点～」課題

講 師 池谷 尚剛（岐阜大学教育学部 特別支援教育講座）

日 時 令和元年10月6日（日）13:30～15:30

場 所 美濃市中央公民館 3F TEL0575-33-1102

皆さんの参加をお願いします。

## ○ぎふかれん第1回理事会

日 時 令和元年7月22日（月）10:00～15:00

場 所 岐阜県福祉・農業会館 2南

議題

○ 次年度予算要求

・次年度電話相談事業の増額要求      ・ミニ県大会予算要求

○コンピュータ（デスクトップ型）のウィンドウズ7問題

○ぎふかれんのアンケート調査の実施・とりまとめについて

○物品販売について

○県・国への要望課題の検討

○その他

後日議案書を送付致します。

## ○岐阜県障がい者ふれあい福祉フェア

マーサ８８の店舗の１隅で、障がい者の絵画・書・写真・手芸作品等が展示・即売されます。

例年行われている行事です。

ぎふかれん参加の事業所や当事者個人の作品を募集しましたところ、レース編み、クッションカバー、エコバックなどの作品の応募（３名）がありました。折角の機会なので参加しましょう。

## 6月以降の実施された行事や今後の行事予定

月	日	行 事	場 所	対応者
6	2（日）	障害者スポーツ大会	メモリアルセンター	山田
	5（水）	精神保健福祉協会 理事会・総会	県図書館	野々
	5（水）	岐阜県障害者社会参加推進センター 第1回協議会	福祉会館 F2 会議室	服部
	7（金）	障害者スポーツ 第1回理事会.	福祉会館	山田
	10・11 （月・火）	みんなねっと総会 東京 池袋 会長・事務局長会議	アットビジネスセンター池袋	山田
	12（水）	長良川マラソン実行委員会	海津市	野々
	21（金）	障がい者ふれあい福祉フェア担当者会議	清流プラザ	中村
	22（土）	障害者スポーツ社員総会・第2回理事会	福祉会館	山田
	24（月）	みんなねっと愛知大会 実行委員会	愛知県白壁庁舎	山田
7	9（火）	ねんりんぴっく実行委員会	清流プラザ	山田
	14（日）	「知ってもらいたい心の病」	大野町総合町民センター tel : 0585-32-1111	
	22（月）	ぎふかれん第1回理事会	福祉会館 2F 会議室	
	27（月）	岐阜県社会参加推進会議	水産会館	
10	6（日）	「知ってもらいたい心の病」	美濃市中央公民館	
11	7・8 （木・金）	みんなねっと愛知大会	愛知県刈谷市	

現時点で判明している予定を記載。



